

かがやく森

神山小学校五年

稲次

青唯

私は、宿泊学習で白谷雲水きょううへいった。何回かいった。たまたまはあるけどいつもものとおりがかやく森だ。私になぜかがやく森といっているのはあとからわかるだろう。私たちは、そのかがやく森にあしをふみいれていった。私たちがめざすのは、たいま岩だ。たいま岩までの道のりは、けわしかった。最初は歩道があつてのぼりやすかったけど、つり橋をわ

屋久島町立神山小学校

たつたり歩道がなくなつて山道へとはいつていった。それから少ししたら、川をわたる所があつた。川の水が太陽にてらされて、森が、かがやいてみえた。木の中なので鳥の声がかたくさした。そして、一つ目のトイレキョウけいをするところへついた。そこには、シカの宿とつけられている木があつた。そこには、つけた人の名前がかいてあつた。私は、つけた人けうれしうだろうなと思つた。トイレキョウけいをおえて、さつそく

のぼりはじめた。そして、次にみえてきたのは七本杉だった。その杉は、一本の杉は七本の太い枝がはえているためそう名付けられたそうだ。まだまだたいこ岩までの道は、長い。屋久島の森にはたくさん人の植物や動物がいる。そしてその豊かな、自然をみよふため長くはたのみの観光客がくる。そして観光客を案内するガイドがいる。私の父のガイドの仕事がこのような長れで、できていることにはたいこ岩までの長い道のりのなかでわかった。なぜかと

## 屋久島町立神山小学校

いうと、たいこ岩までの長い道のりでいろいろながガイドさんとあったからだ。外国人を案内するガイドさんもいた。だいたい客を二人づつで案内する、ガイドさんもいた。山の中にまんにもガイドさんがいるわけは、観光客が屋久島の山、ホホホにきて、屋久島のすざいとまろをみにいって、いるからだと。私は思った、屋久島はかがやいているなと。そろそろ、こけむすホホがみえてくるはず。次はこけむすホホについた。まごはジブリえの画え

毛の付けひめのぶたいたたき夕夕神杖工に家  
 木がある神み顔なで写真をとってから。たい  
 て岩へむけてふたたびあるきだした。そむ  
 そだついにたいき岩の頂上が見えてきた。預  
 もぐたいて岩の上でみ水なで立てた。きけが  
 かかっていたので下がみえなくてこわかった。  
 私係として、み人なで立つた。たはひ、岩はたの  
 しい一日の思い出。いちばん目にうかがった。

屋久島町立神山小学校